

日日是好読

マイニチアキズニホンヲヨム

新船海三郎 著

文芸評論家である著者が仕事先の出版社のホームページに書いた本に関するエッセー125本を収録。



言葉への井上ひさしの洞察力、優しくも凛とした幸田文の文章、斎藤美奈子の批評の切れ味、作中の過酷な人生と一緒に

「慟哭」して書いた水上勉、右遠俊郎の年譜の魅力。若い感性による戦争体験継承の新しさを発見したことや、コロナ禍などが資本主義に突きつけたもの…。世相を斬りつつ著者の知見、思索、文学への愛が交わり、読書の喜びにいざないます。（本の泉社・2500円）

2022.12.18 未読ほんたな